

# 憂

## 田中康夫

今月の憂いポイント

森友学園問題の展開から、  
道徳教科書の検定、  
防衛省の日報問題、  
トランプ政権の施策まで。

## 浅田彰

東京・日本橋横山町で4月にオープンしたばかりのゲストハウス『oh Hostel』をオープン前に訪れた田中・浅田両氏。  
宿泊スペースを見学した後、カフェのソファで対談を開始。  
証人喚問された籠池前・理事長からトランプ大統領の話まで、  
納得のいかない現状に業を煮やすように論じ合った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui



# 憂国呆談

season 2 VOLUME 83

## 安倍首相の関与はなかった？ 森友学園問題の真相。

浅田 森友学園の小学校のため国有地が超格安で払い下げられた問題で、3月23日に理事長だった籠池泰典が衆参両院の予算委員会です証人喚問を受けた後、安倍晋三・昭恵夫妻から100万円の寄付を受けたという彼の証言をめぐって水かけ論争が続いている。法的な責任追及のみならず、首相夫人が名誉校長を務める右翼系の学校に対し官僚が権力者の意図を忖度して便宜を図ったという構造的な問題を政治的に追及する必要があるのである。

田中 「総理の名譽を侮辱した」私人を国会で証人喚問したら、さらに100万円寄付の爆弾発言で「侮辱」された当事者の昭恵夫人の「名譽」のために、国会の場で証人として「真実」を彼女にも語ってもらうのが筋を通す政治のあり方だよ。冷静にとらえれば。なのに、予算委員会の質疑で首相が、「証人喚問には応じない」と拒否したのも行政府の長として、三権分立をわきまえない話でね。招致するかどうかを決めるのは立法府で、行政府ではないのだから。

官邸の電話番号と内閣総理大臣夫人付の肩書が印刷された名刺を持って、経済産業省から出向して活動していた女性職員が森友学園側に、「15年度の予算措置ができず、16年度で行う方向で調整中」と官邸の封筒で文書を送付し、実際に16年度に入るやすぐに予算が執行されたのに、「問い合わせの結果は」ゼロ回答だ」と答弁するの、一般的な我々の頭脳では理解に苦しむ。

証人喚問の後に日本外国特派員協会で見つけた際に通訳が「忖度」の訳し方に戸惑ったように、行間を読むリード・ビトゥーン・ザ・ライズよりもさらに日本的な空気を読む話だよ。具体的な指示や要求が出されるわけじゃないけど、あの案件はどんな具合だね」と間に幾人も介して照会を受けたら、それがどんなに「奥の細道」であろうと実現に向けて動く。それが「役人」だからね。

土地の価格に関して、学校の認可に関して、糸も通らぬほどに狭い針の穴に瑞穂の國記念小學院の木造校舎の丸太が貫通しちやうとした話は、財務省、国土交通省、大阪府をいくらだつて追及可能なのに、民進党は不甲斐ない。携帯電話が水没したという理由で2015年9月5日の100万円寄付疑



感前後のメールは公開されないなら、携帯電話話会社にデータの開示を求めるのも国政調査権で可能でしょ。

失言・迷言・暴言続きの稲田朋美防衛大臣、金田勝年法務大臣、今村雅弘復興大臣を辞職に追い込めず、「産経新聞」も「日本経済新聞」も社説で昭恵夫人がちゃんとした場で弁明すべきだと書いているのに国会審議の空転もできず、「共謀罪」の審議入りに応じてしまう民進党の村田蓮舫、野田佳彦に、安倍晋三内閣は感謝状を呈呈するべきかもね（苦笑）。

浅田 安倍夫妻の寄付や口利きは実証できず、籠池をトカゲの尻尾として切って終わる可能性もあるけれど、安倍政権が右翼に支えられており、官僚もその意図を忖度したという構造が最大の問題なんで、一般国民もそれはよくわかっただろうから、政

治的な影響は大きいね。

田中 「私や妻が関わっていたら総理大臣も国会議員も辞める」と大見得を切ったのも大人げない。その昔の政治家は心の中ではベロツと舌を出しながらも神妙な面持ちで「不徳の致すところです」と述べたものだ。官僚が全自動洗濯機ならぬ、全自動付度機」と化して、首相も、全自動湯沸かし器」になっているのは弱ったものだ。

浅田 いずれにしても、森友学園問題が安倍政権にもたらした政治的ダメージは大きい。さらに、加計学園その他の問題もある。田中 カリフォルニアに語学留学時代からの「腹心の友」が経営する加計学園グループが新設する岡山理科大学獣医学部が、なぜか瀬戸内海を渡った愛媛県で計画されていて、地元は今治市は

学園に37億円の土地を無償譲渡、192億円の校舎建設費も県と市が半分補助するの間



が半分補助するの間  
「テロ等準備罪」と名前だけ変えて通そう  
としての。オリンピックは、利権のみならず、こういう目的にも使えるのか（苦笑）。

田中 「共謀罪」を「テロ等準備罪」と言い換えること自体が「もうひとつの真実」ならぬ「もうひとつの不誠実」なオルタナティブ・ファクトなんだよ。政治目的の騒乱や内乱という破防法違反の罪を罰する「陰謀罪」がすでに存在していて、爆発物取締罰則違反の罪に対処する法律も存在する。組織的殺人予備罪という組織犯罪処罰法も同様にね。

浅田 欧米のメディアは一貫して安倍政権の右翼歴史修正主義を批判してきた。森友学園問題もその線で大きく報じられている。むしろ日本でこれまでそういう批判的報道

が少なかつたことが問題。日本のメディアがいかに去勢されてるかかってこと。  
田中 すったもんだの末に組織的犯罪処罰法改正案が審議入りしたけど、これも5月下旬にイタリアのシチリア島で開催されるG7サミットで、国際組織犯罪防止条約第5条を締結するための根拠法が国会で通りました。と報告しなくちゃいけないからだなんて噴飯もの。

その条約は「9・11」前年の2000年に採択されていて、日本だけが17年も要するなんて行政・立法の不作為でしょ。しかも、マネーロンダリングと乳幼児や女性の人身売買を防止するための内容で、テロとは直接関係ない。  
浅田 共謀罪はこれまでに3回も法案として国会に出して通らなかつたのに、東京オリンピック・パラリンピックがあるからテロ対策強化が必要だと称し、

から関係あるに決まっている(苦笑)。  
田中 戦前に治安維持法が成立した際に、当時の新聞が、善良な一般国民には適用されないといふ大見出しを打ったのを思い出さないと。

道徳の教科書検定も絶句ものだ。消防団のおじさんをおじいさんに、パン屋を和菓子屋に、アスレチックの遊具で遊ぶ公園を和楽器を売る店に修正したら文部科学省の検定にパスしたと。検定に引っかけなかった理由が、「郷土愛不足」だといふんだから呆れるよ。じゃあ、昭恵夫人の実家はチョコレートやキャラメルのメーカーだけど、忖度しなくていいのか(苦笑)。老人がハシゴから落ちると大変だから働き盛りの年下が代わって担当する「長幼の序」を教えてこそ美しい日本だろ(涙)。

浅田 聖徳太子の復活も問題。厩戸皇子という人物は実在するものの、聖徳太子がやったと言われることを全部やったわけじゃない。そういう歴史研究の成果に基づいて聖徳太子という名前をカッコに入れようとしてたら、皇国史観を懐かしむ右翼が、それでは古代史の物語が成り立たないって言って反対した。十七条憲法の「和を以て貴しと為す」からすると、平和憲法でいいってことになっちゃうけどね(笑)。むしろ、遣隋使に託して煬帝に「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す、恙なきや」として手紙を送ったのは当時としては驚くべき非常識で、煬帝が激怒したのも当然、しかしあんな辺境の島国に派兵することもないっていうんで事なきを得ただけだけど、安倍首相も習近平国家主席に対しそうやって威張りたいたいんじゃないのかな。  
ついでに言うと、韓流ドラマの日本語版では「王様」って呼び方がどうも不自然。

日本語なら「陛下」でしょう。しかし、皇帝と、皇帝の息子や冊封体制下の国々の君主である王は格が違って、前者には「陛下」、後者には「殿下」と呼びかける。ところが、日本のマス・メディアでは「陛下」以外は「様」と呼ぶようになってきているから、「王様」っていう奇妙な呼びかけが生まれたんじゃないか。ともあれ、朝鮮の王はつねに中国の皇帝に気を使ってきたのに対し、日本は島国だから皇帝と対等な天皇と聞いて自慢してられたんだよね。

### 大臣が自らを防衛できない？ 防衛省の日報問題。

浅田 森友学園問題では、安倍首相が後継者として育ててくるという稲田朋美防衛相も右翼人脈べったりだったことが明るみに出たけれど、それ以上に問題なのは、防衛省の日報問題。安保法を無理やり成立させた安倍政権が、さっそく実績をつくらうと、

南スーダンPKOに派遣される自衛隊に「駆けつけ警護」共同防衛」の任務を新たに付与……。

田中 その派遣部隊の日報に「戦闘」と記されているのは大問題だと「護憲派」が糾弾するならまだしも、「改憲派」が怖気づくとは驚いた。

浅田 稲田は「答弁をする場合には、憲法九条上の問題になる言葉を使うべきでない」と、武力衝突という言葉を使っている」と言った。法的建前に沿って「戦闘」を「武力衝突」に置き換えたと認める、驚くほど正直な答弁(苦笑)。防衛相なのに自分の防衛もできない。おかげで、安保法案審議のとき危惧されてたとおり、現実には戦闘に巻き込まれる恐れがあっても建前に沿って

「保守」を  
気取ってた  
大臣がこの程度かと、  
背広組と

制服組の  
両方から  
呆れられている。(田中)

無視されることがはっきりした。

その日報は破棄したと言ったけれど、電子データがあった。統合幕僚監部が稲田に報告したのは、それがわかって1か月も経ってからの。実は陸上自衛隊にもあって、制服組は出そうとしたのに背広組が出すなと言った。文民統制どころか、文民が隠蔽を主導したわけだ。いづれにせよ、稲田は防衛省をちゃんと統率できてない。

田中 「保守」を気取ってた大臣がこの程度かと、背広組と制服組の両方から呆れられている。

浅田 現場の指揮官や隊員としちゃ、まったもんじゃないよ。戦闘に巻き込まれようになっても、戦闘と認めること自体が建前上許されない。安保法がいかにいい加減なものか、あらためてはつきりした。

田中 論語の「民は之に由らしむべし、之を知らしむべからず」を「広辞苑」は、「人民を為

政者の方策に従わせることとはできるが、その理由を理解させることは難しい」と解説したうえで、「俗に人民はただ従わせればよく、理由や意図を説明する必要はない」と曲解する場合もあっていると記しているけど、まさに最近の日本は後者の心算の政治家が我が物顔に闊歩しているね。

ミッチーの愛称で知られた元・副総理兼外相を務めた渡辺美智雄は、「私は3分の1の人に分かってもらい、あと3分の1の人が分かってもらい、あとの3分の1の人があの先生が言うのだから『仕方がないかも』というところまで持っていけば、と思う」と述べていて、論話の話も「別に人民に対していろいろ教えたって仕



田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。  
大学在学中に『なんともなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんともなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me

方がないよ、だから黙ってやっちゃおう、そういう意味じゃないんですよ。本当の意味は」と語っているのね。全員に理解してもらうのは大変に難しい、でも、その努力を怠ってはいけないのは政治だけでなくあらゆる分野の指導者に求められる話なのに、どうも洋の東西を問わず、真逆のリーダーばかりが目立つ。

## 就任早々、ピンチ到来？ トランプ大統領の政策。

浅田 ドナルド・トランプ米大統領が就任して2か月。ハッタリ屋の不動産王だから、選挙期間中は言うだけ言って、当選したら、後はエスタブリッシュメントと妥協するんだろうと思いきや、けっこう原理主義的に突っ走り、おかげで大混乱が続いている。

田中 オバマケア撤廃の公約にそって、ティーパーティー的なポール・ライアン下院議長らが主導して出した代替法案が、共和党内からも反対され、採決前に撤回して暗礁に乗り上げ、支持率も低迷。浅田 ポール・クルーグマンが前から一貫して書いてたように、とんでもないポピュリストのトランプに対し、ライアンは知的な政策通だとメディアが報じてる、それが間違いだ、と。オバマは公的保険制度を導入したかったけれど、共和党が賛成しないから、共和党のミット・ロムニー前マサチューセッツ州知事が導入した皆保険制度を真似た。国民に民間の保険への加入を義務付け、低所得層には補助を出す。保険会社には既往症などによる差別を禁ずる。共和党内にはそのオバマケアの全面撤廃を求め

## 情報の中で 閉回路の中で 「言った」 「言わない」の 水かけ論に なってるのは 事実でしょう。(浅田)



たけれど、それでは大混乱になるから、ライアンは中途半端な策を講じた。たとえば、加入を自由にする。しかし、それでは若い健康な国民は入らないから、健康保険として成り立たない。結果、10年で2400万人が無保険状態に戻り、保険料も高騰する、と議会予算局が推計した。それで党内の反対さえ抑えきれず法案撤回に追い込まれたんだから、醜態もいいところ。

田中 首筋が赤く日焼けしているのレックドネックと揶揄されてきた白人労働者だけでなく、巨大軍需産業、巨大金融機関、巨大製薬会社に象徴される1パーセントの側の候補者と見なされていたヒラリー・クリントンに嫌悪を感じていた中間層からの支持も得て当選し、ワシントンに巣くうロビ

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。



イストやシンクタンクの既得権益を一掃すると豪語していたのも束の間、どうやらウォール・ストリートの操り人形と化してしまっただけ。

浅田 トランプ政権も共和党も統一が取れず、混乱が続いている。外交でも、オルト右翼のステイヴン・バノン上級顧問が国家安全保障会議の常任メンバーからはずれたかと思うと、シリアのアサド政権が反政府勢力に対し化学兵器を使ったことを理由に巡行ミサイルによる攻撃を敢行、アサド支持のロシアを敵に回した。シリアへの介入に消極的で、ロシアと協力してイスラム過激派と戦うんだと言ってきたトランプとしては、全面的な政策転換で、いまのところ従来の路線に戻った形。かつてオバマが化学兵器使用をレッド・ラインとしながら結局シリア攻撃を見送った、今回はそこで攻撃に踏み切ったわけだけど、マッチョぶりを見せつけるだけで体系的な政策があると

は思えないのが不安だね。だいたい国務省は上級職がまだ空席だらけだし。

田中 世の中なんて結局は変わらないという「ジニシズム」が、蔓延するのが怖いからね。

浅田 そもそもトランプ政権のメディア対策は滅茶苦茶すぎる。トランプ自身がフォックスやブライバートみみたいな右翼のニュースばかり見て、そこで流れた情報をそのままツイートしちゃおう。オバマが自分を盗聴してた、とかね。シヨン・スパイサー報道官は、大統領は「盗聴」と書いてる、つまりメディアの報道を引用して隠喩的に語ってるんだと、苦し紛れの弁明。ただ、情報を事実と突き合わせるんじゃない、情報の閉回路の中で「言った」「言わない」の水かけ論になってるのは事実でしょう。

「大統領は嘘をついた」「いや、そっちこそ大嘘つきのフェイク・ニュースだ」と。で、トランプ支持者の閉回路は、トランプの声を増幅するエコー・チェンバーになって、トランプに不都合な情報はかき消される。

オルタナティブ・ファクトに基づく妄想の世界になってるわけで、トランプにも嘘をついてる意識は希薄かもしれないし、支持者もそれを鵜呑みにしちゃおう。ポスト真実の世界の恐ろしさだね。前職の大統領を盗聴容疑で非難するってのは大事なんだけど、立証できなきゃ撤回に追い込まれるのが普通だけど、トランプに関してはなかなかそうならない。

田中 しかし繰り返して述べてきているように、日本も似たような状況でしょ。

浅田 南スーダンで戦闘はなかったっていうオルタナティブ・ファクトに基づいて妄想の安保外交が展開されてる(苦笑)。やれやれ。